第７回　織田作まつり　２０２１年１０月１６日（土）

～今こそ”無頼派”を問い直す～　井村身恒さんを偲んで

生誕100年を記念して生國魂神社に建立された
織田作之助の銅像前でポーズをとる井村さん
（2013.10.26）

今年は”無頼派”　三羽烏の織田作之助・坂口安吾・太宰治を取り上げます。
なお、私どもオダサク倶楽部の井村身恒 共同代表が、8月21日、脳卒中で亡くなられました。68歳でした。
2003年、オダサク倶楽部創立から代表として、組織を牽引されて来ました。今回のテーマ「今こそ”無頼派”を問い直す」は生前、井村さんの発案です。

織田 作之助 33歳没
1913.10.26-1947. 1.10

坂口 安吾　48歳没
1906.10.20-1955. 2.17

太宰治　38歳没
1909. 6.19-1948. 6.13

「無頼派作家の夜」（実業之日本社文庫）カバー表紙より

＊無頼派【ぶらいは】とは　敗戦直後の数年間に活躍した織田作之助，坂口安吾，太宰治，檀一雄，石川淳ら一群の文学者たちに与えられた名称。反俗・反権威・反道徳的言動で時代を象徴することになった作家たちをいう。
彼らは戦後の虚脱，昏迷の状況のなかで，既成の文学観や方法，特に古いリアリズムが無効であると認識し，それに反逆した。象徴的な同人誌はなく、範囲が明確かつ具体的な集団ではない。 一方，新しい〈戯作〉を模索しようとしたことから，〈新戯作派〉とも呼ばれた。（『ブリタニカ国際大百科事典 小項目事典』・コトバンク 他）

＜午前10時～＞・神事　　生國魂神社　織田作之助銅像前
＊近鉄 大阪上本町駅 西へ徒歩5分/地下鉄谷町線・千日前線 谷町九丁目駅 3番出口より徒歩3分
＜午後2時～5時＞・記念講演会＆座談会　　クレオ大阪中央 多目的室
＊大阪市天王寺区上汐5-6-25　　電話　06-6770-7200
◆近鉄「上本町」駅から1.0km 徒歩15分
◆地下鉄谷町線「四天王寺

・主催：オダサク倶楽部
・共催/協力（予定）：なにわ名物開発研究会
隆祥館書店
・後援：生國魂神社

お問い合わせ・ご参加お申し込み：オダサク倶楽部
松井 繁幸　携帯:090-5046-4075 /メール:matsuisig@icloud.com
オダサク倶楽部
facebook　http://www.facebook.com/OdaSakunosuke
twitter　https://twitter.com/sakunosuke1026

第７回　織田作まつり　　２０２１年　１０月１６日（土）

◆無料プログラム

【午前10時より】

オープニング・セレモニー　神事

（会場：生國魂神社 織田作之助銅像前）

2013年、織田作之助生誕百年を記念して建立された織田作之助銅像前にて、108回目の誕生日を祝い、大阪の文化・上方芸能の発展を祈念する神事を行ないます。

◆有料プログラム

【午後2時より5時まで】

記念講演会 & 座談会　関連書籍販売

（会場：クレオ大阪中央 多目的室）

第1部

・記念講演会「オダサク、太宰、それぞれの西鶴」

大阪大学大学院 文学研究科　斎藤（さいとう） 理生（まさお） 教授

（休憩）

第2部

・座談会　「無頼派の魅力を語ろう」

◆出席者

・斎藤 理生（大阪大学）

・恩田雅和（天満天神繁昌亭初代支配人）

・本多俊介（安吾の会・オダサク倶楽部会員）

・高橋俊郎（オダサク倶楽部共同代表）[司会]

＊＊＊

有料プログラム 入場料

・オダサク倶楽部会員　@1,000円

・一般　@1,500円

＊新型コロナ感染防止のため、次の事項をお守りください。

1.ご参加申し込み

出来るだけ、事前にご登録ください。

登録項目（・氏名　・電話番号　・Eメールアドレス）

Eメールで申し込みいただければ助かります。

先着40名様までです。お早めにお申し込みください。

2.当日のお願い

(1)この部屋は土足厳禁です。

各自で上履き等ご用意ください。

(2)時節柄、当日自宅で検温の上、マスクをご用意し、体調を整えお越しください。

斎藤（さいとう） 理生（まさお） 先生 プロフィール

1975年6月　香川県高松市生まれ

2021年4月から　大阪大学大学院

文学研究科 教授

（研究分野）太宰治・織田作之助の小説を含め、日本の近現代小説全般を研究。

（最近の主な著作）

『太宰治の小説の＜笑い＞』　双文社出版、2013年）

「織田作之助全集未収録資料紹介（一）～（三）」

（「阪大近代文学研究」2017年～2019年）

「新発掘・坂口安吾「復員」とその背景」（「新潮」2018年4月）

『小説家、織田作之助』（大阪大学出版会 2020年01月）（写真）

『織田作之助 評論集「可能性の文学」への道』

（斎藤 理生 編・解説 本の泉社 2020年12月）

＜2016年3月21日 オダサク倶楽部総会で記念講演

「織田作之助と戦後大阪の新興紙―『夜光虫』を中心に」＞

（座談会出席者 プロフィール）

◇恩田 雅和　おんだ まさかず

1949年、新潟市生まれ。坂口安吾と同郷。大阪大学大学院文学研究科修了。元和歌山放送プロデューサー。天満天神繁昌亭支配人を経てアドバイザー。

著書に『落語ジャーナリズム』（有馬書店）、『紀伊半島近代文学事典』（共著・和泉書院）など。産経新聞で「繁昌亭支配人の落語✖文学」で2018年5月まで5年4か月にわたり連載。

第２回織田作まつり 2015年10月18日　記念講演会「織田作之助と上方落語」

◇本多 俊介　ほんだ しゅんすけ

安吾の会・オダサク倶楽部・坂口安吾研究会会員。安吾が書いた追悼文「織田の死」を約７０年ぶりに発掘（２０１９年）し、「坂口安吾はなぜ木村義雄を書いたのか」（将棋と文学研究会「将棋と文学スタディーズ」、２０１９年）、「資料紹介『吹雪物語』関連―未発表書簡・帯文・書評ほか―」（安吾研「坂口安吾研究」第５号、２０２１年）などを執筆。

オダサク倶楽部例会（２０２０年２月２２日）で講演

「安吾が語るオダサク、オダサクが語る安吾」～「織田の死」とその周辺～

◇高橋 俊郎　たかはし としろう　（織田草之助）

2003年オダサク倶楽部創設時から副代表を経て2021年4月から共同代表。

大阪文学振興会総務委員・帝塚山学院[帝塚山派文学学会]副代表

・同志社女子大学嘱託講師・阪南大学非常勤講師・元大阪市立中央図書館副館長